

桜井民報

編集・発行：日本共産党桜井市委員会
連絡先：桜井市栗殿1029-5
吉本ビル201号 吉田ただお事務所
☎/FAX：0744-46-4930
HP：[日本共産党市会議員吉田忠雄](#)



吉田ただお 9月議会報告 2016年10月号 No. 62号

ゴミ焼却等長期管理運委託料

毎年6億7千万円

日立造船との契約は協議のうえ見直しを

— 27年度一般会計決算認定に反対討論おこなう —

9月定例議会が、9月1日から23日まで開かれました。今回は平成27年度一般会計、各特別会計決算認定等の審議がおこなわれました。

吉田ただお議員は一般会計決算認定に反対しました。一般質問は、纏向遺跡・纏向古墳群の保存と活用、桜井市清掃公社について松井市長を質しました。

平成34年度まで財政圧迫つづく

衛生費・清掃費のゴミ焼却炉等管理委託料6億7千4百95万6千8百円について、桜井市の人口は今後80年間で、この金額は日立造船との14年8ヶ月の長期運営管理委託料91億6千6百8万円（税抜き）を年度ごとに標準化したものです。桜井市の市民一人当たりの1年間に掛かるゴミ処理経費、トン当たり1万1千円、市内の他市や全国平均と比べて、桜井市の財政を圧迫します。

平成34年度



日立造船との長期業務運営委託契約は、協議のうえ見直すべきです。

人権施策推進費のふれあいセンター費は教育費に

ふれあいセンターは、現在は多くの団体が利用をしています。ふれあいセンター費を民生費・人権施策推進費に計上するのはふさわしくなく、一般行政施設として教育費に入れるべきであります。

市民の声を聞き、国や県に強く働きかけ、計画の推進を

系史跡の保存と活用は今、始まらばから

計画書での遺跡の保存・管理・活用は

吉田議員

吉田議員

今年4月策定の「史跡纏向遺跡・史跡纏向古墳群保存活用計画書」の指針に

重要遺跡は必ず保存したい 市長

松井市長

非常に広大な遺跡であり、遺跡の中に集落があることから

太田地区全体の整備事業を急げ

吉田議員

全体を保存することは不可能だが、遺跡の中でも重要な地域は保存をしていきたい。遺跡の活用面では、遺跡を次世代に継承し、遺跡の活用を推進するため、地域コミュニティや観光等への活用も含めて、幅広く方向性をまとめていきたい。

吉田議員

今年度は太田地区でトイレなどの便益施設の設置を進めているが、今の計画では太田地区全体の整備事業が完了するのには、3、4年先になると考える。急いで整備を

箸墓周辺部に遺跡博物館設置を 吉田議員



土地所有者の同意も得て、7月文意で、市が公有地として指定した土地。箸墓古墳の土壌調査結果を提出した。うしろ

吉田議員

箸墓古墳隣接地の周濠部エリアで、土地所有者の理解と協力のもと、史跡指定に向けた調整をおこなっているが、今後の整備事業として、史跡公園などの保存と国や県に強く働きかけて、国営遺跡博物館の設置をしてはどうか。

松井市長

史跡指定後は、地権者の理解を得つつ、史跡整備を進めたい。国の施設誘致等についても、国・県とも協議を検討していきたい。

備をされたい。

松井市長

史跡公園、体験学習、交流拠点も視野に入れたガイダンス施設等の設置を計画的に進めたい。

調査はまだ2%。国を動かす取り組みを 吉田議員

吉田議員

45年にわたって纏向遺跡の発掘調査が第186次までされてきたが、調査が終了したのは、遺跡全体の2%である。重要な遺跡の保存については、桜井市だけで力は及ばない。史跡の整備や活用については、国を動かすぐらいの教育委員会、あるいは行政の取り組みと市民の理解と協力が絶対に必要と考える。

松井市長

纏向遺跡・纏向古墳群の保存と活用について、しっかりと国・県と一緒にやっていきたい。

